

# 学校再編に関する説明

加西市教育長 菅野恭介

## 1 学校の存在意義

教育の基盤は人と人との関わり（ふれあい）と考えます

「子どもたち」と「先生（大人）」

「子どもたち」と「子どもたち」

「子どもたち」と「地域」 など

・・・様々な人との関わりの中で子どもは育ちます

そのための重要な場が

**学校** です

## 2 学校再編の議論が必要な背景

### ○急激な少子化

中3～小1 300人台

5歳～0歳 200人台→100人台

### ○地域差 14歳 → 0歳

北条中校区 135人 → 122人

善防中校区 40人 → 21人

加西中校区 55人 → 27人

泉中校区 81人 → 21人



## 3 小規模校のメリットデメリット

### (1) 小規模校のメリット

○運動場・体育館などを**余裕**をもって使えます。

○**異年齢の学習活動、体験的な学習、校外学習**などを行いやすくなります。

○意見や感想を**発表できる機会**が増えます。

○活動において**リーダーを務める機会**が多くなります。

○クラスの人数が特に少ない場合（10人以内程度）は、**一人一人にきめ細かい指導**が行いやすくなります。

### (2) 小規模校のデメリット

<中学校（1学年1クラス）>

○教員定数が少ないために、**免許外の教科を教えなければならない可能性**が高まります。

○顧問となる先生が少ないために部活動も少なくなり、**入りたい部がない**ということが起こります。

○教員一人にかかる**校務の負担が大き**くなります

○生徒の**人間関係が固定化**しやすく、人間関係に配慮した**クラス分けができません**。

○同世代の仲間から刺激を受けて、**感性や資質が磨かれる思春期**に、仲間が少ないことで**刺激を受ける機会が減ります**。

### <小学校（1学年1クラス）>

- 教員定数が少ないので、学級担任以外で、**図工などの専科教員を配置することが難しく**なります。
- 学年を一人の担任が担うので、**ベテラン教員からの指導や担任どうしの切磋琢磨が難しく**なります。
- 教員一人にかかる**校務の負担が大き**くなります。
- 子どもたちの**人間関係が固定化**しやすく、人間関係に配慮した**クラス分けができません**。
- 同世代の仲間から多くの刺激を受けて、**感性や資質が磨かれる時期に**、仲間が少ないことで**刺激を受ける機会が減**ります。

### <小学校（複式学級）>

- 複数の学年の児童が同じクラスで、内容の異なる授業を受ける**ので、通常の学級に比べると、先生も子どもたちも**対応が非常に難しく**なります。
- 子どもたちの**人間関係がほぼ固定化**してしまいます。
- 将来、**大きな集団に入った時の適応が難しく**なります。  
(参考) 兵庫県の基準は2学年の合計人数が14人以下（1年生を含む場合は8人以下）

## 4 オンライン授業や交流授業について

小規模校のデメリットを打開するために「複数校をオンラインで結んで授業する」「複数校の子どもが一緒に授業を受ける機会を設ける」といった代替案が考えられます。

しかし、**オンラインで対面と同じ教育効果を期待することは難しいことや、限られた時間、限られた教科でしか実現できないことから、完全に代替することは難しい**と考えます。

## 5 加西市で目指す教育と学校再編

加西市では、人と人との関わり（ふれあい）を基盤として、以下のようなことが実現できる学校・園を目指して邁進します。

- 教員が「願い」をもって子どもたちに関わる
- 子どもたちが、もてる感覚をフルに使って学ぶ
- 学校や園が温かい言葉で満たされる
- 心も体も元気に過ごす

そのためにも、学校や園は、

### **多くの出会いの中で、子どもたちと教職員と一緒に成長できる場**

でありたいと思います

したがって、学校の小規模化が加速的に進む現状において、**子どもたちが学ぶ最高の環境づくりを目指すためには、学校再編は避けて通れない課題**と考えています。

令和5年4月1日現在 小学校区別・年齢別人口一覧

年齢	学齢	北条小	北条東小	富田	賀茂	下里	九会	富合	日吉	宇仁	西在田	泉	合計
0		46	66	10	4	17	21	6	5	4	3	9	191
1		42	54	12	11	19	20	12	7	5	3	8	193
2		50	53	11	14	28	16	21	9	5	5	13	225
3		72	58	13	15	23	29	12	8	4	3	12	249
4		64	52	20	10	30	38	20	13	4	8	13	272
5		58	57	20	15	23	25	26	12	8	4	26	274
6	小1	72	55	19	23	35	39	23	14	10	11	25	326
7	小2	68	60	22	19	28	40	24	17	12	11	27	328
8	小3	66	53	24	13	40	31	24	13	13	11	21	309
9	小4	77	58	23	19	37	46	32	14	6	18	31	361
10	小5	63	56	14	16	30	46	19	22	15	15	24	320
11	小6	69	56	25	10	30	49	26	13	13	12	20	323
12	中1	57	53	22	17	26	43	44	11	11	14	35	333
13	中2	76	49	32	15	21	53	24	15	9	8	17	319
14	中3	67	43	25	19	21	35	20	16	12	18	35	311

# 令和5年度 加西市 児童・生徒数一覧

令和5年5月1日現在

学校名	児童生徒数							学級数(参考)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
北条小学校	70	65	64	74	59	69	401	2	2	2	2	2	2	12
北条東小学校	55	61	52	57	54	54	333	2	2	2	2	2	2	12
富田小学校	19	21	25	22	15	24	126	1	1	1	1	1	1	6
賀茂小学校	22	20	13	19	16	11	101	1	1	1	1	1	1	6
下里小学校	36	26	39	36	30	30	197	1	1	2	1	1	1	7
九会小学校	38	41	29	47	45	49	249	2	2	1	2	2	2	11
富合小学校	21	22	26	31	19	24	143	1	1	1	1	1	1	6
日吉小学校	14	17	13	14	22	14	94	1	1	1	1	1	1	6
宇仁小学校	9	10	13	6	15	13	66	1	1	1	1	1	1	6
西在田小学校	11	11	11	18	15	12	78	1	1	1	1	1	1	6
泉小学校	24	26	19	30	24	21	144	1	1	1	1	1	1	6
小学校計	319	320	304	354	314	321	1,932	14	14	14	14	14	14	84
北条中学校	124	148	121				393	3	4	4(3)				11(10)
善防中学校	38	37	36				111	1	1	1				3
加西中学校	79	72	55				206	2	2	2				6
泉中学校	66	47	77				190	2	2	2				6
中学校計	307	304	289				900	8	9	9(8)				26(25)

※上記の表の児童生徒数には、特別支援学級の児童生徒も各学年に含まれています。 2,832

110(109)

※北条中学校の3年生は、兵庫型学習システムを活用し、4クラス編成としている。

本来は3クラス編成となります。

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
加西特別支援小	4	1	3	3	4	1	16
兵庫教育大附属小	4	4	2	3	1	2	16
市外公立小		2			2		4
市外特別支援小		1					1
小学校計	8	8	5	6	7	3	37

中学校名	1年	2年	3年				合計
加西特別支援中	3	6	4				13
兵庫教育大附属中	13	9	8				30
私立中	7	3	4				14
市外特別支援中			1				1
県立大附属中			1				1
中学校計	23	18	18	0	0	0	59

※加西特別支援学校 高等部の生徒数は21名です。(表にはありません)

## 加西市未来の学校構想検討委員会の答申概要（参考資料）

令和4年9月に標記検討委員会から市長へ検討結果を答申。

### 1 教育のありたい姿

- ・基本理念「郷土を愛し豊かに未来を拓く人づくり」  
学校園、家庭、地域社会が一体となりすべての人が学び育み合う教育のまち
- ・次世代型の人材育成  
教科横断的や探究的な学習を充実させ、3C（挑戦・協働・創造）の資質・能力を育む

### 2 基本的な考え方

#### (1) 中学校

- ・小規模化に伴う教科学習や部活動等の課題を解消するため、市内に2中学校とする。
- ・現中学校区を北条中学校と善防・加西・泉の3校の統合中学校の2校とする。
- ・統合中学校の校区の広がりに伴う通学の不安を解消するため、全生徒が利用可能なスクールバスを導入する。

#### (2) 小学校

- ・小規模化の課題はあれども地域に根差した学校の存在として11校を存続する。
- ・課題を解消・緩和するため、学園構想として小小連携、同時遠隔授業などのICT活用を充実させる。
- ・複式学級の発生2年前をガイドラインとして地域協議会を設置し、小学校統合を含む協議を開始する。

### 3 その他

- ・今年度、更に市民の声を聞いたうえで基本的な考え方を再検討する。